

令和 6（2024）年度

日本仏教社会福祉学会第 58 回大会 IN 善通寺

第 58 回学術大会 開催ご案内（第 1 報）

2024（令和 6 年）5 月吉日

【大会テーマ】「四国遍路・「お接待」・地域福祉」

【大会日程】2024（令和 6 年）年 9 月 14 日（土）・15 日（日）

【大会会場】真言宗善通寺派総本山善通寺 遍照閣・いろは会館（香川県善通寺市）

1 開催にあたって

令和 6 年 1 月 1 日能登半島地震でお亡くなりになった方々に哀悼の誠をささげます。被災された皆様に衷心からのお見舞いを申し上げます。

日本仏教社会福祉学会の第 58 回大会は、本学会団体会員である総本山善通寺様のご協力により開催する運びとなり、大会名を表記のように明記することに致しました。本学会にとっては、初めて四国の地での開催となります。この四国の地で育まれた四国遍路と「お接待」の文化から地域福祉への展望を図るべくシンポジウムのテーマを設定致しました。会員の皆さまのご参加をお待ち致しております。

2 シンポジウム「四国遍路・「お接待」・地域福祉」

テーマ設定の理由

戦後日本の社会福祉は、アメリカとイギリスの影響を大きく受けて成立しました。その社会福祉とはいわゆるゴールドトライアングルと言われるものでした。つまり①哲学・思想②制度・政策③臨床・実践が相互に結びついて展開するというものでした。確かに戦後日本の社会福祉は大きく変革しました。そして大きく発展しました。

しかし、その三つの分野が同等に発展したかという点で制度・政策が先行し臨床・実践が続く哲学・思想は置いて行かれることになりました。さらに歴史・文化・仏教・地域性の分野は全くと言っていいほどに忘れ去られて来ました。

一口に日本と言っても気候、風土、県民性、言葉、食べ物など多種多様です。それぞれの地域でそれぞれが暮らしてきました。全国一律の哲学・思想や制度・政策、臨床・実践は基本的合意では有効です。だがそれぞれの地域での歴史や文化、仏教はそれぞれの地域で大きく異なっています。

そこで 1990 年の社会福祉関連の八法改正を嚆矢として、多くの改正を行い日本の社会福祉は、地域福祉として生まれ変わりました。

従来は、貧困者、障害者、高齢者など特定少数を対象にしていた社会福祉を、現在は自立生活の対人援助を必要としている人(「バルネラビリティ」を有している人)としました。つまり、「バルネラビリティ」を有している人には、いわば地域の「駆け込み寺」が必要となりました。自分が住んでいる場所で、身近で、気軽に、気安く総合的に相談ができる「福祉アクセシビリティ」があることが地域において必要不可欠な条件となりました。

普遍的な全国一律の社会福祉からそれぞれの地域で自分たちのことは自分たちで決まるという地域福祉へと展開されるようになりました。介護保険法改正(2006年4月施行)により導入された地域包括支援センターはその流れの原型とすることができます。

戦後まもなくの日本の社会福祉・地域福祉は、現在では大きく発展してきたことは衆人の認めるところであります。しかし、宗教と福祉との関係性が諸外国では当たり前のことが、仏教と福祉との関係性は日本に全くと言っていいほどになされていません。日本の社会福祉は戦前までは仏教との関係は深く強いものでした。戦後は日本国憲法との関係もあって仏教と福祉の関係性は途切れたままになっています。だが社会福祉から地域福祉への転換をはかるなかで仏教という社会資源を無視することは得策ではなくむしろ積極的に活用することが必要となっています。そういった意味で仏教のメッカとも言うべき善通寺での各方面からの議論に期待したいと考えます。

弘法大師空海生誕の地において今後の仏教と福祉の関係性のあり方に付いて何らかのヒントを得られれば望外の喜びとするところです。

3 大会日程・概要

【9月13日(金)】

令和6(2024)年9月13日(金) 15時 理事会：善通寺いろは会館

【9月14日(土)】

令和6(2024)年9月14日(土)

9時00分から 受付開始 善通寺遍照閣

9時30分 物故者慰霊法要

導師 総本山善通寺法主 菅 智潤 狛下

10時00分 記念講演

総本山善通寺法主 菅 智潤 猯下

「真言宗の福祉活動 (含、社会福祉法人 弘善会)」

11時00分 特別講演

認定 NPO 法人子育てネットくすくす 理事長 草薙めぐみ氏

「地域に根ざす多様な子育て支援活動～複合型 NPO のチャレンジ～」

総合司会・講師紹介

NPO 法人 Samaya プロジェクト 21 副理事長 湯通堂法姫師

12時00分～13時30分 昼食：昼食会場 いろは会館

随時 境内参拝

13時30分～16時30分 シンポジウム：「四国遍路・「お接待」・地域福祉」

シンポジスト

善通寺信徒総代 灘 健二氏

「大先達の立場から」

四国八十八ヶ所霊場会総裁 菅 智潤 猯下

「札所寺院の立場から」

認定 NPO 法人子育てネットくすくす 理事長 草薙めぐみ氏

「地域福祉の立場から」

コメンテーター

種智院大学客員教授 山口幸照師

コーディネーター (司会)

NPO 法人 Samaya プロジェクト 21 副理事長 湯通堂法姫師

※記念講演、特別講演、シンポジウムは一般公開・聴講無料。

16時40分～17時20分 学会総会 善通寺遍照閣

17時30分～19時30分 懇親会 いろは会館

【9月15日(日)】

9月15日(日) 研究発表会 いろは会館

9時00分 受付開始

9時30分～12時30分 研究発表会

4 大会参加費

大会参加費（2日間）：3000円

（会員区分、事前、当日の区分を設けません。学生会員は無料）

学生会員の方は、第2報のご案内にて大会参加（研究発表）のお申し込みをお願いします。

昼食費（9月14日）：1000円 昼食お申し込みの方のみ、いろは会館の食堂を利用できます。

懇親会費：5000円（当日のお支払いとなります）

※ 参加費、昼食費は、第2報で送付いたします「払込取扱票」にて、8月末日までにご送金ください。

懇親会の申し込みも第2報の「払込取扱票」であわせてお願いします。

※ 善通寺様の大駐車場の近くに食堂が2軒ほどあります。

5 善通寺へのアクセス方法

山陽新幹線・岡山駅乗り換え、特急利用、JR善通寺駅下車。

善通寺駅から約1.1km。徒歩またはタクシー利用。

タクシーの台数が少ないため、ご利用にはご注意ください。

6 宿泊申し込み方法

善通寺いろは会館は善通寺境内にあります。部屋は1人から4人部屋になります。

申込時に本学会員であることをお伝えいただき、各自で申し込んでください。

宿泊料金 お申込み時にご確認ください。

基本宿泊 9月14日チェックイン 9月15日チェックアウト

1泊（夕食・朝食） 8,000円／1名

1泊（朝食のみ） 6,000円／1名

1泊（素泊まり） 5,000円／1名

（前泊ご希望の方）

9月13日チェックイン 9月15日チェックアウト

2泊（夕食・朝食） 16,000円／1名

2泊（朝食のみ） 12,000円／1名

2泊（素泊まり） 10,000円／1名

9月14日に宿泊の方で、夕食を申し込まれる方は懇親会のご参加となります。
懇親会費から夕食代を引いた金額で懇親会にご参加いただきます。

予約窓口

予約方法 電話にてご予約をお願いいたします。

宿坊（いろは会館内）総本山善通寺

電話：0877-62-0111(代) 受付時間：午前9時～午後5時

そのほかの宿泊先

善通寺市内に複数の宿泊施設があります。ご都合に合わせて各自でお申し込みください。

7：今後の予定

第2報で、大会の詳細についてお伝えいたします。6月下旬頃を目安にご案内いたします。

- ・大会参加および懇親会の申し込みについて
- ・研究発表申し込みについて
- ・その他

8：台風や災害時の対応について

例年9月は台風シーズンとなります。本学会でも過去に台風の影響で大会日程を大幅に変更しこともあります。また交通機関についても支障が見込まれることがあります。

大会開催について、会員の皆様の安全を考え開催地に暴風警報発令の場合、開催時間の3時間前に発令中の場合は午前の部を中止、午前10時時点で発令中の場合は午後の部を中止としています。

また、事前に台風の接近が見込まれる場合については、前日までに大会事務局として開催の可否を判断させていただき、ホームページでご案内させていただくことをご了承ください。

令和 6（2024）年度 第 58 回日本仏教社会福祉学会学術大会実行委員会 委員構成

（五十音順）

栗田 修司 児玉 龍治 佐伯 俊源 長崎 陽子 宮城洋一郎
山口 幸照 湯通堂法姫 渡邊 義昭

本大会に関する問い合わせは、下記にお願いいたします。

2024（令和 6）年度 日本仏教社会福祉学会学術大会連絡事務局

〒260-8701 千葉県千葉市中央区大蔵寺町 200 淑徳大学
アジア国際社会福祉研究所 アジア仏教社会福祉学術交流センター内
2024（令和 6）年度 日本仏教社会福祉学会学術大会連絡事務局

電話 043-265-9879 FAX 043-265-7339

メール info.jabsws@gmail.com